

# What's SHIZU-GIN?

第113期 営業の中間ご報告

2018  
DECEMBER

## CONTENTS

- ① TOP MESSAGE
- ③ 第13次中期経営計画
- ⑤ 営業のご報告
- ⑨ 地方創生への取り組み
- ⑬ Shizugin:ship
- ⑭ コーポレート・フィランソロピー
- ⑮ 環境への取り組みなど
- ⑰ 第113期 営業の中間ご報告
- ⑳ 決算情報

第13次中期経営計画

*Tsunagu*  
～つなぐ



# 地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

AIやロボット、IoTなどの技術革新は日々加速し、最近では新聞やテレビのニュースでその話題を目にしない日はほとんどなくなりました。少子高齢化や人口減少といった社会構造の変化と相まって、技術革新はあらゆる産業や個々の企業に今後のあり方を問いかけています。まさに時代は大きな転換期を迎えており、静岡県においても主力産業である自動車産業がEV化により大きな影響を受けると言われていますが、産業構造の変化を見据えた対応は、もはやすべての企業にとって不可避の課題となっています。

その一方で、高齢化の進展に伴い、県内の半数以上の企業経営者が60歳を超える状況にあり、地域経済が活力を維持し、持続的な発展を遂げていくためには、こうした事業を次世代に継承する取り組みも急務となっています。

こうしたなか、静岡銀行グループでは、昨年4月より第13次中期経営計画「TSUNAGU〜つなぐ」をスタートさせ、いかなる環境においても常に地域に寄り添い、地域とともに成長を続ける力強い総合金融グループの実現に向けて、時代を切り拓く新たなビジネスモデルを構築すべく、「収益」「チャネル」「人（人材・人員）」の3つの構造改革の取り組みを加速させています。

まず、「収益」の構造改革では、貸出金や手数料で収益を稼ぐ伝統的なビジネスの成長にくわえ、その延長線上にはない新たな事業領域の開拓を進めることにより、市場運用部門への依存度が高まった収益構造の転換を目指しています。前年度決算では、貸出金の堅調な増加に加え、首都圏でのローンマーケット開拓など、新たな事業領域における収益化が進み、円貨貸出金利息が9期ぶりに前年度比プラスに転じました。

また、新たな成長機会の創出に向けた異業種

企業との連携においても、マネックスグループとの協業によりロボアドバイザーが投資判断や売買を自動的に行いお客さまの資産形成をサポートする「しずぎんラップ」の取り扱いを開始しました。このほかにも、住宅ローン専門金融機関であるアルヒが取り扱うローンの保証事業をグループ会社の静岡信用保証が開始するなど、次の第14次中期経営計画に向けた中長期的な視点での収益基盤強化を着実に進めています。

続いて、「チャネル」の構造改革では、時代に即した対面サービスのあり方を追求するとともに、非対面サービスの一層の拡充を目指しています。本年度は、エリア営業体制のもとで地域特性に合わせた店舗機能への見直しを行う「営業体制改革」の試行を県内の5エリアで実施。エリア統括店に担当者を集約することで、スキル・ノウハウの共有を促進し、課題解決力の一層の向上を目指しており、対象エリアは順次拡大していく方針です。また、スマホ決済サービス「Origami Pay」との口座連携を開始するなど、非対面サービスにおける利便性向上にも継続的に取り組んでいます。

そして、「人」の構造改革では、働き方改革を推進し、従業員の多様な価値観に対応しつつ、総労働時間の削減と業務運営の見直しを大胆に行っています。本年度は、フレックスタイム制や在宅勤務の導入にくわえ、最寄りの支店での勤務を可能とするサテライト勤務の試行を開始

するなど、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みを強化しました。また、地域企業7社への派遣制度も開始し、真のお客さま目線に立ち、地域の課題解決をリードできる行員の育成強化にも力を注いでいます。

さて、私は、変化の激しい現代における最大の経営リスクは「時代に取り残されること」だと考えています。本年10月に視察で訪れた中国では、すでに「現金」「財布」「クレジットカード」「メールアドレス」がなくなりつつありました。1年ほど前の時点で、これらは「あと5年でなくなる」と言われていたのですが、たった1年の間に、日本をはるかに凌ぐスピードで革新的な進化を遂げていたのです。それほど、世界で起きている変化のスピードは速いものだと痛感しました。

時代の潮流は止めることはできません。しかし、時代の変わり目は見方や考え方を変えれば、従来の発想にはない新たな付加価値を生み出すチャンスと捉えることができるはず。静岡銀行グループでは、これからも地域に寄り添い、皆さまとともに確かな未来を切り拓くための果敢な挑戦を続けてまいります。

皆さまにおかれては、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

頭取 柴田久

企業理念 | 地域とともに夢と豊かさを広げます。

ビジョン Innovative Bank ～地域とともに新たな価値を創造し続ける『しずぎん』

## 基本戦略

- 1 地域経済の成長にフォーカスしたコアビジネスの強化
- 2 事業領域の開拓・収益化による地方銀行の新たなビジネスモデルの構築
- 3 チャンネル・IT基盤を活用したセールス業務の変革
- 4 地域、お客さま、従業員、株主の夢と豊かさの実現を応援する

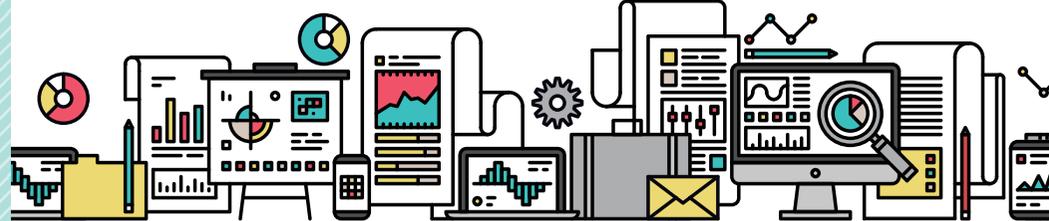
## 事業領域 × 構造改革



# しずぎんラップ

MSV LIFE

異業種企業との連携の一環として、マネックス・セゾン・バンガード投資顧問株式会社が運営する投資一任運用サービス(ロボ・アドバイザー)を活用した「しずぎんラップ(MSV LIFE)」の取扱いを2018年8月31日にスタートしました。



### 投資一任運用サービスとは

お客さまがマネックス・セゾン・バンガード投資顧問との間で資産運用の目標をロボ・アドバイザーを利用して計画し投資一任契約を結ぶことにより、資産運用・管理を、おまかせするサービスです。



### しずぎんラップ(MSV LIFE)の特徴

1,000円から世界に投資ができる

1,000円から投資を始められ、分散投資により運用が可能です。お客さまが負担する実質コストは年1%未満(税込)を目指します。

自分にあった計画タイプが選べる

- ・積み立てながら「ためるタイプ」
- ・取り崩しながら「たのしむタイプ」
- ・「ためるタイプ」と「たのしむタイプ」を組み合わせた「そなえるタイプ」

### ロボ・アドバイザーとは(無料体験あり)

ロボットと資産形成の目標を計画

インターネットで簡単な質問に答えていただくと、ロボ・アドバイザーがお客さま一人ひとりのリスク許容度に応じた最適なプランを提案します。

目標達成確率を日々見守ります

投資一任運用を開始すれば、あとはおまかせ。資産運用の状況は、専用アプリのマイページでお知らせします。

### ご利用はインターネットで完結

ご利用口座の開設から投資一任運用契約の手続きまでインターネットで完結します。

→しずぎんラップ(MSV LIFE)ホームページ

しずぎんラップ



## 貸出金

2018年度中間期の貸出金の残高(平残)は前年同期比2,886億円増加し、8兆2,568億円となり、このうち静岡県内向け残高は264億円増加し4兆8,513億円となりました。

### ■貸出金残高(平残)の推移

(億円) ① 銀行全体 ② うち静岡県内



## 預金

2018年度中間期の預金残高(平残)は前年同期比2,978億円増加し、9兆5,583億円となり、このうち静岡県内の残高は3,064億円増加し、8兆2,839億円となりました。

### ■預金残高(平残)の推移

(億円) ① 銀行全体 ② うち静岡県内



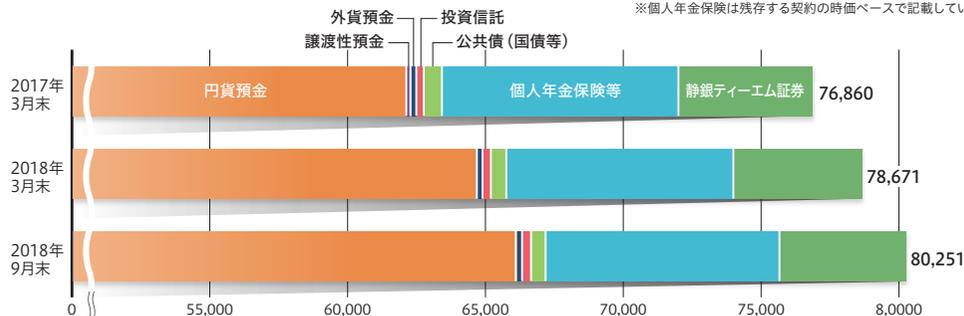
## 個人預り資産

2018年9月末の静銀ティーエム証券を含む個人預り資産の残高は2018年3月末から1,580億円増加し、8兆2,511億円となりました。



### ■個人預り資産(末残)の推移

※個人年金保険は残存する契約の時価ベースで記載しています。



## ソリューション営業

### 事業承継・相続支援への取り組み

お客さまの「事業承継」や「相続」に関するさまざまな課題について、法人・個人部門が一体となり、グループ会社や外部専門家の協力のもと、解決につながるソリューションを提供します。

### 事業承継・財産の承継の一体推進



#### 法人部門

●事業承継 ●資本政策



#### 個人部門

●納税資金 ●資産保全 ●遺産分割 ●承継手続

一体営業  
スキル共有

### 事業承継サポート

#### ■受付件数の推移

(百万円) ① 事業承継関連融資金額 ② 事業承継相談受付件数



#### 〈2018年度上期実績〉

自社株承継	441件	資産有効活用	38件
資本政策	19件	オーナー相続	164件
		其他事業承継	96件

#### サポート事例

後継者不在で廃業も視野に入っていた金型製造業A社から、事業の多角化を検討していた精密部品製造業B社への事業譲渡をサポート。A社は長年のお取引先との取引継続および従業員の雇用が確保され、B社は新規事業への進出を実現しました。

### 相続セミナー

相続に関する基本的な知識から、セカンドライフに役立つ情報まで、わかりやすく専門家が説明しています。2018年度上期は36会場で開催し、445名の方にご参加いただきました。



相続税について知りたい

円滑な相続にしたい...

遺言書ってどう書くの？

遺言信託・遺産整理業務

2018年度上期実績

取次件数 320件 成約件数 110件

わかりやすく  
皆さまの疑問に  
お答えします

## 「しずおか事業承継ファンド」

### 2018年3月設立

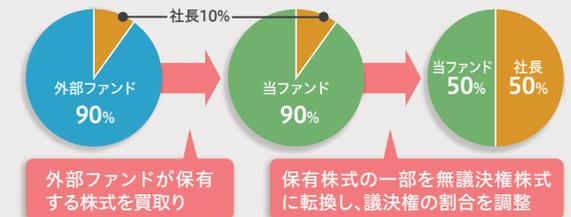
外部株主からの株式買取り要請への対応や、経営承継までの安定株主対策など、事業承継・事業継続における資本面での課題を解決し、円滑な承継をサポートします。

#### 出資者

静岡銀行・日本政策投資銀行・静岡キャピタル、DBJ 地域投資

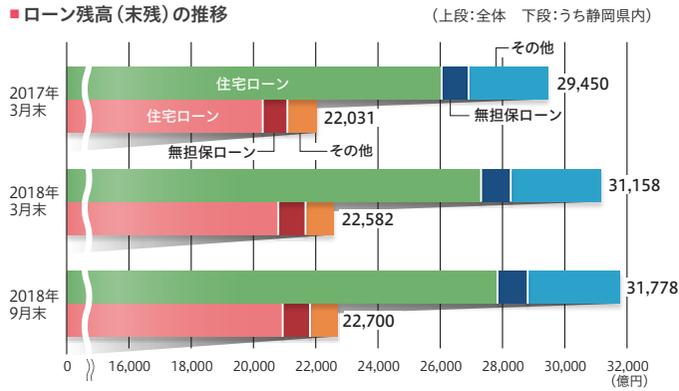
### 投資事例

外部ファンドが株式の90%を保有する企業に対し、将来的な社内承継を見据えた株主構成への移行をサポートしました。



## ローン

2018年9月末の個人のお客さま向けローンの残高は3兆1,778億円で、住宅ローンを中心に、2018年3月末より620億円増加しました。



- ローンの内訳
    - 住宅ローン
    - 無担保ローン
    - その他(資産形成ローン等)
  - うち静岡県内
    - 住宅ローン
    - 無担保ローン
    - その他(資産形成ローン等)
- ※「住宅ローン」はアパートローンを含む。

## 「しずぎん目的別ローン(WEB完結型)」の取扱を開始

2018年7月27日

お客さまのライフステージに応じた資金ニーズにお応えします。お申込からご契約まで、すべてインターネットでお手続きいただけます。



**資金使途** 物品、サービスの購入資金 (趣味、医療・美容、結婚費用など)

**融資金額** 10万円以上500万円以内

**融資期間** 10年以内 **融資利率** 年3.0%、5.0%、7.0%

ローン返済を支援する「8疾病保障」を付帯できます。

## アルヒ株式会社と連携した保証事業を開始

2018年8月1日

グループ会社の静岡信用保証(株)が、住宅ローン専門金融機関のアルヒ(株)の取り扱う住宅ローン商品「ARUHI 変動S」の保証を行う事業を開始しました。

### 「ARUHI 変動S」の主な特徴

- ARUHIのフランチャイズ店舗を中心に、全国138拠点\*で取扱い
- 事前審査から融資実行まで最短5営業日の迅速な審査
- 全5種類の「ARUHI 団体信用生命保険」から選択可能

※2018年9月末現在

# ARUHI

全国に138拠点を展開。全期間固定金利住宅ローン【フラット35】の実行件数8年連続シェアNo.1の実績を有する国内最大手の住宅ローン専門金融機関

## インターネット支店

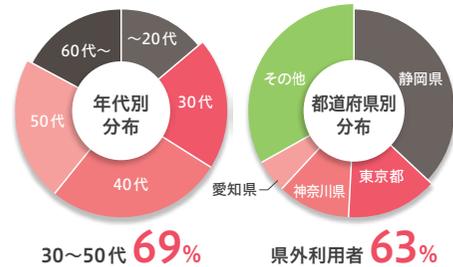


インターネット支店では、口座開設のペーパーレス化や投資信託の取扱い、住宅ローンの完全非対面化など、より便利で身近にお使いいただけるよう、機能の改良、拡充に取り組んでいます。

### インターネット支店の預金残高・口座数推移



### 顧客構成 (2018年3月)



- 2007年7月 インターネット支店開設
- 2013年9月 デザインカード導入 契約年齢引き下げ (20→17歳)
- 2014年11月 マイカーローン・住宅ローン取扱開始
- 2016年3月 ネット投信のリニューアル
- 2017年6月 住宅ローン「完全非対面型」取扱開始
- 2018年3月 契約年齢引き下げ (17→15歳)

若い世代の行動や心理を知り、使いたくなるサービスに!

### 常葉大学と共同研究を実施 ~若者と金融の接点~

**実施期間** 4月17日~6月5日 (全14回)

**テーマ** 若者と金融の接点を視覚化する

**研究内容** 顧客調査と調査結果の分析・可視化

**参加学生** 常葉大学造形学部 2~3年生 20名



研究成果発表会

## Origami Pay との口座連携を開始

2018年8月6日

静岡銀行の普通預金口座をOrigamiアプリに登録することで、全国のOrigami加盟店でスマートフォンによるキャッシュレス決済が可能です。

- 対象者** 静岡銀行普通預金のキャッシュカードをお持ちの個人の方
- ご利用方法** Origamiアプリのダウンロード → 預金口座の登録



# 地方創生

～地域社会の持続的成長をサポート

産・官・学・金・労・言・士を結ぶコーディネーターとして

静岡県内各市町の首長、すべての地方公共団体関係者、商工会議所ほか関係団体、銀行役員などがテレビ会議システムを通じて参加。政府の地方創生施策や、地方創生に向けた具体的事例を地域全体で共有しています。

2018年7月25日

第4回

## 地方創生全体会議



### 「ローカル線で地域を活性化する方法」 いすみ鉄道(株) 前代表取締役社長 鳥塚 亮氏

廃線の危機にあった千葉県の「いすみ鉄道」。独創的な企画で観光客を呼び込むことで賑わいを創出し、地域の足の存続につなげた取り組みについてお話いただきました。

### 「藤枝市の地方創生への取組」

藤枝市長 北村 正平氏

「選ばれるまち藤枝」をめざし、街の魅力向上を進める藤枝市。民間誘導により都市機能を集積し中心市街地を活性化する取り組みや、全国に先駆けたICTの活用などをご紹介いただきました。



### 「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局 企画官 白水 照之氏  
ライフステージに応じた地方創生の充実・強化。「わくわく地方生活実現政策パッケージ」の策定・実行など2018年度の地元創生取り組み方針を説明いただきました。

## 県境を越えた観光振興に向けて

### 横浜銀行・山梨中央銀行と

「富士・箱根・伊豆地域の観光振興に係る連携に関する協定」を締結



2018年10月17日

3行が経営資源を投入し、県境を越えて富士・箱根・伊豆地域の観光振興に一体となって取り組みます。

## しずおかキッズアカデミー ～いつまでも胸を張って郷土の魅力を伝えるために～

子供たちが自分の生まれ育った「ふるさと」の魅力を楽しく学び、郷土愛を育むとともに、将来的にふるさとに定住・定着し、地域を担う人材へと成長することを目的に2016年8月にスタートしました。これまで静岡県内各地で10回開催し約1,360名が参加しています。

2018年7月16日

株式会社木村鋳造所伊豆FM工場(伊豆の国市)

[テーマ]

ワクワク模型・3Dプリンタ工場見学!

最新デジタル技術の模型・3Dプリンタ工場を探検しよう!



2018年11月3日

有限会社春華堂 浜北工場・nicoe(浜松市)

[テーマ]

しずおかのお菓子・雑穀について知ろう!  
春華堂を探検しちゃおう!

# 地方創生 地域の産業振興をサポート

～地域経済の活性化に向けたソリューションの提供

## ビジネスマッチング

お取引先のニーズに応じた販売先・仕入先等を紹介するビジネスマッチングに積極的に取り組んでいます。

■ ビジネスマッチング件数推移



## 第14回しずぎん@gricom

～首都圏の有カバイヤーとの商談会を開催～

【開催日】2018年7月3日  
【開催場所】AOI-PARC (沼津市)



## 地銀フードセレクション

～地方から全国へ販路拡大を目指す「食」の関連企業が集結～

【開催日】2018年10月23日～24日  
【開催場所】東京ビッグサイト (東京都江東区)  
【出展企業】970社 (うち静岡県内企業30社)



## 事業性評価

地域経済の現況や産業の見通しを踏まえて、お客さまの成長の可能性や事業の将来性を適切に評価する「事業性評価」を重視した融資を通じて「お客さま」や「地域」の発展を支えています。

### ■ 主な実績

	2018年度上期実績
事業性評価用コベナンツ付融資 将来性やキャッシュフローを重視	129件 / 140億円
しずおか創生・地域企業応援ローン 地域資源の活用や雇用拡大をサポート	104件 / 121億円
ABL (資産担保融資) 在庫や動産の価値に着目した融資	24件 / 25億円
経営サポート資金・ターンアラウンド資金 経営改善・事業再生をサポート	30件 / 6億円

### ■ 中小企業向け貸出金残高 (平残) の推移



## 創業・新事業支援

地域に「仕事」を創出する創業・新事業を支援するため、県内の商工会議所をはじめ、地域の創業支援機関と連携したサポートを行っています。

### ■ 創業支援



## 経営改善・事業再生支援

お客さまの経営状態に応じて、中小企業再生支援協議会などの外部機関などと連携して事業再生のサポートを行っています。

### ■ 事業再生支援取り組み件数



## 静岡県内35店舗で「おもてなし規格認証『金認証』」を取得 取得店舗は計38店舗に

2018年9月28日

2017年3月に国内全営業店で「紅認証」を取得、2017年10月には3店舗で「金認証」を取得。今回35店舗で「金認証」を取得しました。

また、お取引先を対象としたセミナーなどを通じ、制度の普及にも努めています。



2018年度上期の活動実績 参加人数のべ **1,650**人

内容	開催実績
地域フォーラム	1回
セミナー(著名な経営者や専門家の講演会)	3回
ゼミナール(テーマを定め深く学ぶ講座)	15講座24回
エグゼクティブ	1講座4回
ミドル	3講座6回
ベーシック	11講座14回

**エグゼクティブ・ビジネス講座**

経営学基礎・マーケティング・リーダーシップなど全6回

開催日 2018年8月25日～10月27日  
(うち上期4回)

講師 静岡大学教授陣

ゼミナール  
Pickup!



**参加者の声**

- 事前課題、ケーススタディとも実践的で、考え方を鍛えるのに役立った。
- 普段は考えない視点で物事を考えることができた。
- 資料の密度が濃く、たいへん参考になった。

会員数 **786社 1,152名** (2018年9月末現在)

地域フォーラム(東部)

**基調講演「人工知能は天使か悪魔か」**

開催日 2018年7月17日  
講師 株式会社 感性リサーチ  
代表取締役  
黒川 伊保子 氏



フォーラム  
Pickup!



●第23回 林家正蔵・柳家三三  
二人会 (2018年9月 静岡市)



●第66回 ウィリアムス浩子 (2018年7月 浜松市)

**しずぎん  
カルチャー・フォーラム「しずぎん寄席」**

落語会の開催を通じて、地域の皆さまに、  
笑顔あふれるひとときをお届けしています。

**しずぎんユーフォニア・コンサート**

国内外の一流アーティストの演奏を地域の  
皆さまにお楽しみいただいています。



●しずぎんカップ静岡県  
ユースU-11サッカー大会  
●しずぎんカップ静岡県  
スポーツ少年団学童  
軟式野球大会



●常葉大学金融講座

**金融経済教育**

常葉大学、静岡産業大学で「金融講座」を開  
講し、地域金融機関が静岡県経済に果たす  
役割などを解説。このほか県内各地の学校  
等で、金融や経済に関する教育を随時実施  
しています。

**スポーツ大会の支援**

●少年サッカー

11歳以下の静岡県チャンピオンを決める「しず  
ぎんカップ静岡県ユースU-11サッカー大会」  
や、全国各地から子どもたちが清水に集う「全  
国少年少女草サッカー大会」に協賛しています。

●少年野球

静岡県スポーツ少年団学童軟式野球大会に  
「しずぎんカップ」として協賛しています。



**静岡交響楽団を応援しています**

●クラシック・ポップスコンサート  
(2018年5月しずぎんホールユーフォニア)

**静岡文化芸術大学および常葉大学と連携協定を締結**



●静岡文化芸術大学  
(2018年5月17日)



●常葉大学  
(2018年8月28日)

大学との相互協力および連携により、  
双方の資源を有効に活用した協働を通  
じて、地域の一層の発展に貢献します。

**連携内容**

- 地方創生に資する調査研究、情報交換
- 観光まちづくり
- 教育研究、人材育成 など

## 環境への取り組み ~豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐために~

地域との共生をめざす基本理念「地域とともに夢と豊かさを広げます。」の実践に向けて、地域の環境保全に取り組んでいます。

### 金融業務を通じた取り組み

#### 「しずぎんECO口座」の推進

紙の通帳を発行しない「Web総合口座」、インターネット支店専用口座「WebWallet」の2商品の提供により、紙の使用量削減に取り組んでいます。通帳を発行しないことで削減した費用の一部は、認定NPO法人富士山世界遺産国民会議の「富士山基金」に寄付しています。



2018年度上期の口座開設に占めるECO口座の割合

① コンサルティング契約受託 ② 認証取得  
※契約を締結した件数(保守契約を含む)でカウント



#### 経営コンサルティングサービスの提供

静銀経営コンサルティング(株)では、お客さまの環境マネジメントシステム認証(「ISO14001」など)取得のサポートや、CO<sub>2</sub>排出量削減に関する「環境・温暖化コンサルティング」などのサービスを提供しています。

### 環境保全への取り組み

#### 紙使用量の削減

「しずぎん本部タワー」では、ペーパーレス会議運営システムや電子協議・報告システムの導入により、業務の迅速化や生産性の向上に取り組むとともに、紙文書の発生を抑制し、環境負荷の軽減に努めています。



2017年度の文書発生量を2011年度実績比▲50%削減



浜松市中区椎ノ木谷緑地の里山づくり(2018年5月19日)



函南町来光川河川敷の清掃活動(2018年5月27日)

#### 「小さな親切」運動

かけがえのない郷土の自然環境を守り、次世代につなぐため、静銀総合サービス(株)内に静岡県本部を設置し、クリーン作戦や里山づくりなどの環境保全活動に取り組む、緑豊かで潤いのある地域社会づくりを支援しています。

## 誰もがイキイキと働ける職場づくり

多様な価値観をもつ従業員一人ひとりが仕事と家庭生活を両立し、イキイキと働ける環境づくりに取り組んでいます。

### 働き方改革への取り組み

#### 「フレックスタイム制度」「在宅勤務制度」の導入

##### ◎フレックスタイム制度(2018年7月1日)

従業員の自律した働き方の推進とワークライフバランス支援を目的に導入。業務の繁忙に応じて、勤務時間の設定が可能となり、従業員一人ひとりがより高い付加価値を創造する効率的な働き方ができる環境づくりに取り組んでいます。

【対象者】本部、カンパニー勤務者



##### ◎在宅勤務制度(2018年10月1日)

育児や介護に取り組む従業員の選択肢の拡充を目的に導入。専用のパソコンや携帯電話などを持ち帰り、営業資料や報告書、企画書の作成などの業務を行います。

【対象者】小学生以下の子どもを養育する従業員  
常時介護が必要な状態にある家族を有する従業員

### 女性の活躍推進への取り組み

#### キャリアアップ支援

静岡銀行では、「2020年度末までに指導的地位(課長級以上の役職者)にある女性を20%以上とする」目標を掲げ、女性の活躍推進に向けた行動計画を策定するとともに、積極的な登用に取り組んでいます

※これまでの女性活躍に関する取り組みが優良な企業として、女性活躍推進法に基づく認定「えるぼし」、次世代育成支援対策推進法に基づく特例認定「プラチナくるみん」を取得しています。



指導的地位にある女性の比率

2015年度	2016年度	2017年度	2018年度上期
13.0%	14.1%	15.0%	15.8%



#### 子育て支援

育児に取り組む従業員が安心して働くことができる環境を整備し、仕事と育児の両立を支援することを目的に、地域の企業と共同で事業所内保育施設「森のほいくえん」を運営しています。2010年7月の開園以来、38名の従業員が利用しています。

# 第113期 営業の中間ご報告

企業理念 地域とともに夢と豊かさを広げます。



## 静岡銀行の概要

2018年9月30日現在

設立	1943年3月1日
資本金	908億円
貸出金	8兆3,846億円
預金	9兆6,812億円
総資産	11兆7,442億円
連結自己資本比率	16.78% (うち普通株式等Tier1比率 16.78%)
従業員	2,922人
本店	静岡市葵区呉服町1丁目10番地 TEL(054)261-3131
店舗数	206店舗 静岡県内 173 (本支店152・出張所21) 静岡県外 30 (支店25・出張所5) 海外 3 (支店3)

(注)記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

## 邦銀トップ水準の格付

2018年11月30日現在

静岡銀行は「ムーディーズ社」など国内外の3つの格付機関から、日本の大手銀行・地方銀行等のなかでトップ水準の格付を取得しています。

	長期格付
ムーディーズ	A1
スタンダード&プアーズ	A
格付投資情報センター	AA

## 株式情報

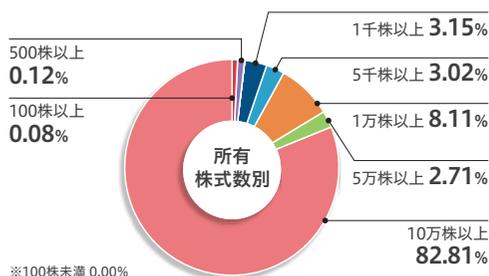
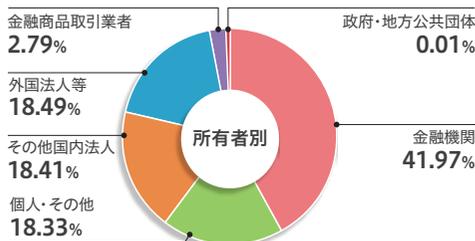
2018年9月30日現在

### 株式の状況

株主数	21,096名 (2018年3月末比168名増)	発行済株式の総数	615,129,069株
		保有自己株式数	21,225,148株 ※

※2018年5月31日、30,000,000株の消却を実施

### 株式の分布状況 (単元未満株式を含む)



## 株主還元状況

DATA.01

第13次中期経営計画期間(2017~2019年度)における株主還元の目標「中長期的に株主還元率50%程度」に則り、業績などを総合的に勘案し、2018年度の1株当たり配当額(年間)は、本年5月の公表どおり22円を予定しています。

### 配当額の推移

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度予想
1株当たり配当額(年間)	20.00円	20.00円	21.00円	22.00円(11.00円)
配当利回り(配当/期末株価)	2.46%	2.20%	2.08%	—

( )は中間配当額

### 株主への利益配分の状況

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度予想	2013~2017年度実績(5年間)
年間配当額①(億円)	123	122	125	130	566(累計)
自己株式取得額②(億円)	70	85	97	115*	592(累計)
株主還元額③=①+②(億円)	193	207	222	245	1,158(累計)
当期純利益④(億円)	440	244	434	450	1,972(累計)
配当性向①/④×100(%)	27.91	49.83	28.74	28.79	28.69(平均)
株主還元率③/④×100(%)	43.82	84.60	51.16	54.34	58.70(平均)

※2018年11月6日取締役会決議にもとづく取得価額の総額(上限)を記載しています。

## 健全性を示す「自己資本比率」〈国際統一基準〉

DATA.02

自己資本比率〈国際統一基準〉は、バーゼル銀行監督委員会が定めた基準により、リスクに応じて計算した「資産(リスク・アセット)」に対する「自己資本」の割合を示す国際的な指標です。

2018年9月末のBIS自己資本比率(連結ベース)および普通株式に係る株主資本等を中心とした普通株式等Tier I比率は、ともに16.78%となりました。

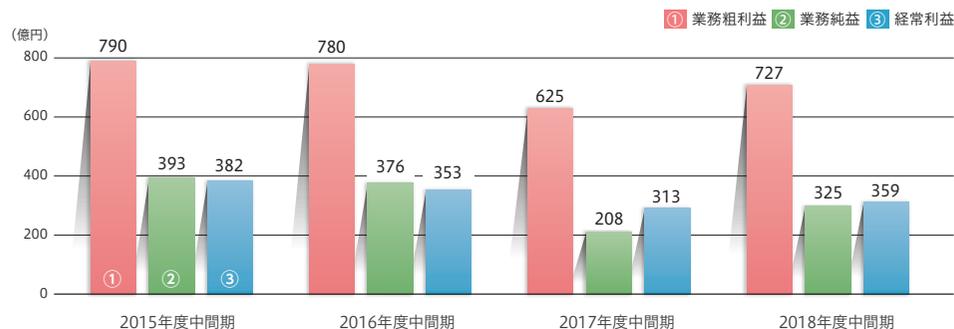
### BIS自己資本比率(連結ベース)



## 業務粗利益・業務純益・経常利益の推移(単体ベース)

DATA.03

2018年度中間期の業務粗利益は、資金利益の増加を主に増益となりました。業務純益は、業務粗利益の増加に加え、一般貸倒引当金の取崩しを計上したことなどにより増益、経常利益についても増益となりました。



### ■ 主な経営指標(単体ベース)

(単位:%)

	2015年度中間期	2016年度中間期	2017年度中間期	2018年度中間期	前年同期比
ROE (中間純利益)	4.11	2.89	4.92	5.86	0.94
ROA (中間純利益)	0.33	0.23	0.41	0.51	0.10
OHR (経費/業務粗利益)	50.56	51.58	66.77	56.88	△9.89
1株当たり中間純利益(円)	29.25	20.82	37.04	47.80	10.76

(注)前年度比は、表上で算出しています。

### ROE [Return on Equity・自己資本利益率]

自己資本を使ってどれだけ利益をあげたか(資本の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

### ROA [Return on Assets・総資産利益率]

総資産を使ってどれだけ利益をあげたか(資産の効率性)を示す指標です。この値が高いほど効率性が高いことを示します。

### OHR [Over Head Ratio・経費率]

一定の業務粗利益を得るためにどれだけ経費をかけたかを示す指標です。この値が低いほど効率性が高いことを示します。

## 有価証券評価損益の状況

DATA.04

2018年9月末の株式・債券等の有価証券評価損益は+3,198億円と2018年3月末に比べ473億円増加、うち株式評価損益は+3,131億円と2018年3月末に比べ477億円増加しました。

(注)満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式を除きます。

### ■ 日経平均株価

2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2018年9月末
16,758.67円	18,909.26円	21,454.30円	24,120.04円

### ■ 有価証券評価損益(単体ベース)

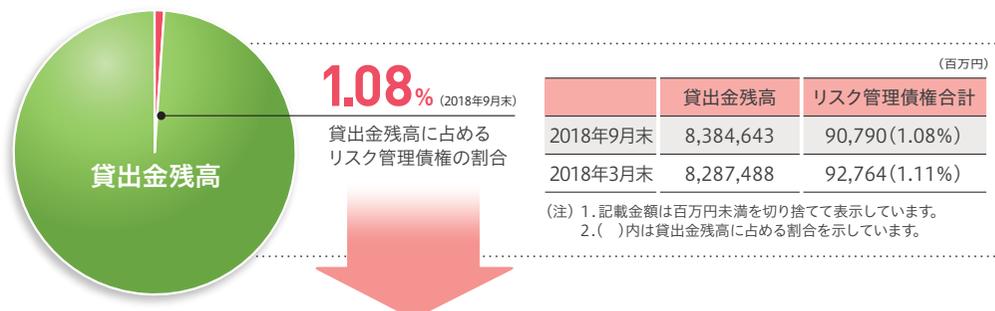


## リスク管理債権等の状況

DATA.05

### リスク管理債権の状況(単体ベース)

2018年9月末のリスク管理債権の総額は908億円、貸出金残高に占める割合は1.08%と2018年3月末に比べ減少しました。また、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は87.98%となっています。なお、リスク管理債権から部分直接償却額64億円、信用保証協会の保証付貸出金387億円、担保・引当金等348億円を控除した実質的なリスク管理債権は109億円で、貸出金残高に占める割合は0.13%です。



(注) 1.記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。  
2. ( )内は貸出金残高に占める割合を示しています。

### ■ リスク管理債権の内訳

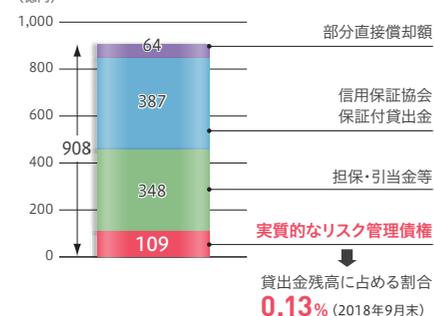
(百万円)

破綻先債権額	3,939 (0.04%)
延滞債権額	75,411 (0.89%)
3カ月以上延滞債権額	377 (0.00%)
貸出条件緩和債権額	11,062 (0.13%)



### ■ 実質的なリスク管理債権

(億円)



### 金融再生法開示債権の状況(単体ベース)

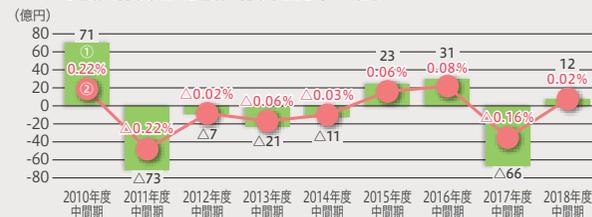
2018年9月末の「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)」施行規則にもとづく開示債権の総額は913億円、総与信残高に占める割合は1.06%、「担保・保証等」や「貸倒引当金」による保全率は88.04%となっています。

### 与信関係費用の状況(単体ベース)

2018年度中間期の与信関係費用は12億円、与信関係費用比率は0.02%となりました。

- ① 与信関係費用  
= 不良債権処理額 + 一般貸倒引当金繰入額 - 貸倒引当金戻入益 - 償却債権取立益
- ② 与信関係費用比率  
= 与信関係費用 / 貸出金平残

### ■ 与信関係費用・与信関係費用比率の推移



# 決算情報 しずぎんの決算(連結・単体)をお知らせします。

(単位:百万円)

## 中間貸借対照表(連結)

科目	2018年度中間期末	科目	2018年度中間期末
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
現金預け金	943,782	預金	9,605,911
コールローン及び買入手形	267,845	譲渡性預金	107,080
買入金銭債権	42,182	コールマネー及び売渡手形	80,925
特定取引資産	17,515	売現先勘定	199,766
金銭の信託	3,700	債券貸借取引受入担保金	103,586
有価証券	1,736,916	特定取引負債	5,379
貸出金	8,363,068	借入金	287,949
外国為替	8,344	外国為替	2,826
リース債権及びリース投資資産	67,023	社債	4,246
その他資産	175,953	新株予約権付社債	34,074
有形固定資産	68,969	信託勘定借	235
無形固定資産	38,592	その他負債	113,239
退職給付に係る資産	6,211	退職給付に係る負債	19,957
繰延税金資産	2,520	役員退職慰労引当金	318
支払承諾見返	62,997	睡眠預金払戻損失引当金	689
貸倒引当金	△41,000	偶発損失引当金	1,241
投資損失引当金	△54	ポイント引当金	470
		特別法上の引当金	11
		繰延税金負債	81,260
		支払承諾	62,997
		<b>負債の部合計</b>	<b>10,712,166</b>
		<b>[純資産の部]</b>	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		利益剰余金	695,609
		自己株式	△21,572
		<b>株主資本合計</b>	<b>819,766</b>
		その他有価証券評価差額金	227,438
		繰延ヘッジ損益	670
		為替換算調整勘定	2,147
		退職給付に係る調整累計額	665
		その他の包括利益累計額合計	230,920
		新株予約権	300
		非支配株主持分	1,415
		<b>純資産の部合計</b>	<b>1,052,403</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>11,764,570</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>11,764,570</b>

## 中間損益計算書(連結)

科目	2018年度中間期
経常収益	123,779
資金運用収益	75,314
(うち貸出金利息)	52,403
(うち有価証券利息配当金)	20,197
信託報酬	0
役務取引等収益	32,919
特定取引収益	1,518
その他業務収益	3,801
その他経常収益	10,225
<b>経常費用</b>	<b>84,998</b>
資金調達費用	13,253
(うち預金利息)	5,483
役務取引等費用	17,476
その他業務費用	2,753
営業経費	46,112
その他経常費用	5,402
<b>経常利益</b>	<b>38,780</b>
特別利益	3,501
特別損失	149
<b>税金等調整前中間純利益</b>	<b>42,133</b>
法人税、住民税及び事業税	9,563
法人税等調整額	2,552
<b>法人税等合計</b>	<b>12,115</b>
中間純利益	30,017
非支配株主に帰属する中間純利益	33
<b>親会社株主に帰属する中間純利益</b>	<b>29,984</b>

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 決算情報の開示について

静岡銀行では、経営内容や業績などをお知らせするため、決算情報をホームページに掲載しています。

<https://www.shizuokabank.co.jp/ir/financial/index.html>

## 中間貸借対照表(単体)

科目	2018年度中間期末	科目	2018年度中間期末
<b>[資産の部]</b>		<b>[負債の部]</b>	
現金預け金	932,870	預金	9,681,295
コールローン	267,845	譲渡性預金	111,380
買入金銭債権	42,182	コールマネー	80,925
特定取引資産	17,360	売現先勘定	173,469
金銭の信託	3,700	債券貸借取引受入担保金	103,586
有価証券	1,755,800	特定取引負債	5,381
貸出金	8,384,643	借入金	261,395
外国為替	8,254	外国為替	2,830
その他資産	150,671	社債	4,246
有形固定資産	64,914	新株予約権付社債	34,074
無形固定資産	38,840	信託勘定借	235
前払年金費用	5,183	その他負債	82,554
支払承諾見返	108,618	退職給付引当金	18,340
貸倒引当金	△36,559	役員退職慰労引当金	133
投資損失引当金	△54	睡眠預金払戻損失引当金	689
		偶発損失引当金	1,241
		ポイント引当金	412
		繰延税金負債	80,337
		支払承諾	108,618
		<b>負債の部合計</b>	<b>10,751,147</b>
		<b>[純資産の部]</b>	
		資本金	90,845
		資本剰余金	54,884
		資本準備金	54,884
		利益剰余金	641,630
		利益準備金	90,845
		その他利益剰余金	550,784
		自己株式	△21,572
		<b>株主資本合計</b>	<b>765,787</b>
		その他有価証券評価差額金	226,366
		繰延ヘッジ損益	671
		評価・換算差額等合計	227,038
		新株予約権	300
		<b>純資産の部合計</b>	<b>993,126</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>11,744,273</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>11,744,273</b>

## 中間損益計算書(単体)

科目	2018年度中間期
経常収益	102,957
資金運用収益	76,670
(うち貸出金利息)	52,410
(うち有価証券利息配当金)	21,552
信託報酬	0
役務取引等収益	15,128
特定取引収益	336
その他業務収益	3,799
その他経常収益	7,022
<b>経常費用</b>	<b>67,103</b>
資金調達費用	13,509
(うち預金利息)	5,729
役務取引等費用	6,933
その他業務費用	2,753
営業経費	41,922
その他経常費用	1,983
<b>経常利益</b>	<b>35,854</b>
特別利益	3,501
特別損失	148
<b>税引前中間純利益</b>	<b>39,207</b>
法人税、住民税及び事業税	8,135
法人税等調整額	2,681
<b>法人税等合計</b>	<b>10,816</b>
中間純利益	28,390

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

### 松崎支店リニューアル

2018年7月30日

地方創生に寄与する店舗仕様

- 松崎町の文化的資源である「なまこ壁」を採用
- ロビーにギャラリースペースを設置
- 「津波避難ビル」としての機能



### 連結子会社(12社)

- 静岡経営コンサルティング(株) 経営コンサルティング業務/代金回収業務
- 静岡リース(株) リース業務
- 静岡コンピューターサービス(株) コンピューター関連業務/計算受託業務
- 静岡信用保証(株) 信用保証業務
- 静岡ディーシーカード(株) クレジットカード業務/信用保証業務
- 静岡キャピタル(株) 株式公開支援業務/中小企業再生支援業務
- 静岡モーゲーサービス(株) 銀行担保不動産の評価・調査業務 貸出に関する集中事務業務
- 静岡総合サービス(株) 人事・総務・財務関連業務 有料職業紹介業務
- 静岡イーエム証券(株) 金融商品取引業務
- 静岡ディーエム証券(株) 銀行担保不動産の評価・調査業務 貸出に関する集中事務業務
- 静岡ビジネスクリエイト(株) 為替送金・代金取立等の集中処理業務 労働者派遣業務

### 持分法適用関連会社(3社)

- 欧州静岡銀行 銀行業務/金融商品取引業務
- Shizuoka Liquidity Reserve Limited 金銭債権の取得
- 静岡セゾンカード(株) クレジットカード・プリペイドカード業務/信用保証業務
- マネックスグループ(株) 金融商品取引業務等を営む会社の株式の保有
- コモンズ投信(株) 投資運用業務、投資信託販売業務

※2018年9月30日現在



静岡銀行

<https://www.shizuokabank.co.jp/>



この印刷物には、環境に配慮した  
植物油インクを使用しています。

本誌は、静岡県が制定した「カラーユニバーサルデザインのための指針」を参考に編集しています。